

2021年12月8日

株式会社マクニカ

芙蓉総合リース株式会社

芙蓉オートリース株式会社

損害保険ジャパン株式会社

**マクニカ×芙蓉リースグループ×損保ジャパン協業による
「自動運転実装ワンストップサービス」の開発
および自動運転向けメンテナンスリースの提供を開始**

半導体、ネットワーク、サイバーセキュリティ、AI/IoTにおけるトータルサービス/ソリューション・プロバイダーの株式会社マクニカ（本社所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原一将、以下マクニカ）と芙蓉総合リース株式会社（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：辻田 泰徳）および芙蓉オートリース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長野 克宣、以下芙蓉オートリース）、損害保険ジャパン株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：西澤 敬二、以下損保ジャパン）は、「自動運転実装ワンストップサービス」を共同開発し、提供します。

現在日本では、自動車事故の削減、ドライバー不足への対応、高齢者等の移動手手段の確保、CO₂削減など、交通に係わる多くの社会課題を抱えています。自動運転技術の活用は、これら多くの課題を解決するソリューションとして期待されています。

しかしながら、自動運転の実装には、自動運転車両の走行に関する高度な専門技術と知識が不可欠であり、かつ、高額な設備投資が発生します。また国内において、自動運転車両のメンテナンスや搬送の体制、万が一事故等が発生した場合の責任関係が複雑であることも課題です。

そこで、マクニカ、芙蓉リースおよび芙蓉オートリース（以下芙蓉リースグループ）、損保ジャパンは、それぞれが保有する強みを組み合わせ、自動運転車両の活用提案から実装、運用に至るまでを一貫してサポートする「自動運転実装ワンストップサービス」を共同で開発し、提供します。

マクニカは、自動運転技術の知見やコンサルティングの経験をベースに、実証実験の企画立案から自動運転の実装作業、オペレーションまで、お客さまをトータルでサポートします。また、世界中のネットワークを活かして、お客さまのご要望、ユースケースに合わせた自動運転ソリューションを提供します。

芙蓉リースグループは、自動運転実証実験支援サービスプログラム*1を提供しています。そして今般、自動運転車両リースの事業基盤と保有する整備工場ネットワークを活かし、実装時の自動運転車両向けメンテナンスリースを新たに提供します。

損保ジャパンは、安心・安全な自動運転導入をサポートするインシュアテックソリューション「Level IV Discovery」*2の開発を進めています。今回の協業を通じて導入エリア・走行ルートに対する自動運転リスクアセスメントを提供するほか、自動運転専用保険プラン（自動車保険）やロードアシスタンスサービスといった運用を実施する上で必要なサービスを提供します。

このように各社の強みを組み合わせることで、自治体や各企業等の自動運転の実装をワンストップで支援していきます。

さらに、今後、マクニカと芙蓉リースグループ、損保ジャパンは、お互いの保有する整備工場やレッカー事業者のネットワークを相互に共有し、自動運転のサービス運用におけるメンテナンスサポート体制を構築していきます。

マクニカと芙蓉リースグループ、損保ジャパンは、それぞれの強みを組み合わせることで自動運転の社会実装を加速し、様々な社会課題の早期解決に貢献していきます。

●自動運転実装ワンストップサービス

マクニカと芙蓉リースグループ、損保ジャパンが提供する「自動運転実装ワンストップサービス」では自動運転の実証実験、社会実装だけでなく自動車保険、定期メンテナンス、車検更新、モビリティとデータを利活用した新たなサービスプランの設計による提案からアフターサービス、移動×あらたなサービスモデル設計までがワンパッケージとなっています。

これにより、各社が持つ様々なケイパビリティを發揮できるサービスを提供します。



●自動運転車両情報（例）



車両情報：自動運転シャトルバス（NAVYA）

自動運転システム搭載：ハンドルなし（セーフティ機能あり）

乗車定員：15人（座席11人・立席4人）

最高速度：25km/h

推奨速度：18km/h以下

EV（電気自動車）：走行時間 9時間・走行距離 200km

*1 自動運転実証実験支援サービスプログラム

芙蓉リースグループは、自社が保有する自動運転車両を、お客さまの自動運転実証実験に提供しています。また、マクニカがオペレーションをトータルサポートして、自動運転実証実験における課題を解消します。詳細はWEBサイト

(<https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/>) をご覧ください。

*2 インシニアテックソリューション「Level IV Discovery」

損保ジャパンが提携企業と開発を進める以下3つのソリューションです。

- ・安全な自動運転走行と運用を支援する走行前の「リスクアセスメント」
 - ・走行中の「遠隔見守り・トラブルサポート」
 - ・万が一の事故に対する備えとして自動運転車に関する多様なリスクをカバーする「専用保険」
- 走行前・走行中・事故トラブルを総合的にサポートすることで自動運転走行を安心・安全面で総合的にサポートします。

詳細はWEBサイト (https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2018/20190215_1.pdf?la=ja-JP) をご覧ください。

※本文中に記載の社名および製品名は、株式会社マクニカおよび各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがあります。

株式会社マクニカ について

マクニカは、1972年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス&ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。

当社は、横浜に本社を構え、世界23ヶ国85拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。

詳細はWebサイト (<https://www.macnica.co.jp>) をご覧ください。

芙蓉リースグループ について

芙蓉リースグループは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」の戦略分野のひとつである「モビリティビジネス」において、車両に関する総合的サポートサービスの提供に加え、自動車、運輸、倉庫等を対象に物流モビリティ分野の技術革新に対応した多様なソリューションを提供しています。グループ会社やモビリティ関連企業との連携によるシナジーを活用し、従来の枠組みを超えた新しいモビリティビジネスの創出を推進し、車両・物流関連業界の問題を解決する多様な商品・サービスをより広い顧客層に提供してまいります。

損害保険ジャパン株式会社 について

損保ジャパンは、SOMPOホールディングス株式会社を親会社とするSOMPOグループの中核会社です。SOMPOグループは、2021年度からスタートした3年間の中期経営計画において、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献する」というグループ経営理念の具現化に向けて、各事業の魅力を徹底的に高めると同時に、新たな事業機会の探求、グループ内の事業間連携やデジタル技術を活用したお客さまサービスの拡充などに取り組んでいます。こうした取り組みを通じて、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」実現を目指しています。